

福祉園の冬



1グループ「門松作り」

年神様が迷わず1グループに訪れられるよう、赤や金色等華やかな色の色紙などを使用して行った門松作り。好きな野球チームのマークを入れたり、お花をたくさんつけてみたりとそれぞれの個性の光る作品となり、廊下がパッと華やぎました。

2グループ「風船羽根つき、バレンタイン創作&調理」

2021年の幕開けに、2グループではオリジナル羽子板を作成し、風船羽根つきを行いました。可愛らしい羽子板を思い切り振って、豪快に羽根つきを楽しんでいます。バレンタインでは、ハート満載の創作物を作成。流行りのバスケット風ショコラチーズケーキにも挑戦しました。冬イベントも満喫の2グループです。

3グループ「クリスマス」

一年最後の大イベント、クリスマスが3グループにもやってきました。切り絵でクリスマスツリーを作り、飾り付けを行いました。クリスマス当日はデリバリーランチを実施し利用者の方々が好きなものを注文しクリスマスツリーを見ながらおいしくいただきました。

4グループ「ウォーキング」

冬らしく寒い気温でも気持ちの良い青空の中ウォーキングへ行って身体を動かしています。落ち葉や梅の花等の季節を感じながらのウォーキングを楽しみ、帰園後は手洗いもばっちりです。

(記:水谷)



ボランティア受け入れについて

※現在、新型コロナウィルス感染拡大防止の為、ボランティアさんの受け入れを見合わせております。状況が落ち着き次第、受け入れを再開しますので、その際は、どうぞよろしくお願い致します。

問い合わせ等ありましたら、どうぞお気軽にご連絡ください。

お知らせ

★春季休園日：3月31日～4月1日（2日から通所再開です）

★入所式：4月8日

※広報誌における写真や記事は、個人情報保護法に基づき、ご本人、およびご家族の同意の上で掲載しています。

(広報担当：川邊・有山・水谷・有我)

主任から一言



さわやかな風がそっと頬をなでていく、気持ちのよい季節となりました。皆様いかがお過ごしでしょうか。今年度も神明福祉園の運営にご理解・ご協力をいただき誠にありがとうございました。

今年度は新型コロナウイルスにより、通所の自粛やイベントの中止、活動内容の変更等を余儀なくされました。もちろん施設だけでなく、全世界で人類・経済に大きな影響を与え、未だかつてない難局に直面しました。施設として、まずは安全な環境を整えるための感染対策、その中で可能な活動を手探りしながら実施していき、既存の活動の見直し、新たな活動を創出するということに繋げてきました。

この一年間を振り返ると、「コロナ疲れ」という言葉のように感染対策の意識を常に持ち続けることの難しさを実感しました。勤務中はもちろんのこと、勤務時間外での行動の一つひとつが周囲に大きく影響を与える責任を改めて自覚することになりました。

先月より日本でもワクチン接種が始まり、新型コロナウイルス収束に向けて第一歩を踏み出しましたが、次年度も引き続き、感染対策の徹底のもと「安心・安全・楽しい福祉園」を実現できるように取り組んでいきたいと思います。

皆様どうぞよろしくお願ひ致します。

(記：北出)

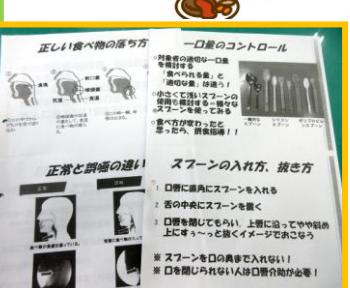


研修報告

摂食研修

摂食基礎研修では、嚥下の仕組みをビデオと演習を通して学びました。首の角度や姿勢、口の閉じ方を変えてゼリーを飲み込んでみて、実際にその飲み込みにくさや危険性を体験しています。利用者の方それぞれに合った食事介助の方法を意識し、今後も日々の支援に努めています。

(記：小出)



口腔ケア研修

口腔ケアの研修では、摂食基礎研修と同様に支援員同士でペアになり、フェイスガードやゴーグルを使用してお互いに口腔ケアを体験しました。歯磨きの基礎的な方法や飛沫防止の注意点はもちろんのこと、声かけや距離感、磨きの強さ等で、相手が感じる安心感も変わることを改めて体感しました。今後も、利用者の皆様に安心して口内の清潔を維持できるよう丁寧な支援を提供して参ります。

(記：二宮)



“還元イベント『cafe de 神明』”

2月26日、福祉園の年度末恒例イベントを『cafe de 神明』という喫茶店形式で開催しました！

このイベントはあいのわーく活動（古紙・空き缶回収や自主生産品作成など）の売り上げを利用者の皆さんに還元するイベントです。今年度は古紙回収・付録作業の収入で実施しました。

例年は皆で集まって交流を図るのですが、今回は三密を避ける為『素敵な喫茶室となったホールにグループ単位で来店』『マドレーヌに思い思いのデコレーション』『好みのドリンクも合わせて各活動室へデリバリー』といった方法で行いました。

マドレーヌにこれでもか！と見ているこちらがビックリする程の生クリームをニコニコしながら盛り付けたり、トッピングで用意したコアラのマーチを丁寧に載せたりして、オリジナルケーキが完成。各グループの部屋に届いたケーキを、皆さんおいしそうに召し上がってきました。（なお、古紙回収にご協力いただいた地域の皆様には、ゴミ袋をお礼として配布させて頂きました。いつもご協力、本当にありがとうございます。）

今年は新型コロナの流行で色々な制限がかかり、これまでとは違った形を模索しながらの1年となりましたが、それを糧に色々なアイデア出し合い、新しいカタチを創作することもできました。次年度も地域の方々との関わりや活動を通して、利用者の皆様と楽しみながら、あいのわーく活動に取り組んでいきたいと思います。

（記：熊田）



わくわくイベント



今年度は新型コロナ感染防止の為、思う様にイベントの開催が出来ない状況でしたが、感染収束への願いや対策を行いながら楽しめるイベントをわくわく委員会で企画しました。

まず1つ目は「神明神社」を作り、感染拡大・防止に向けた願いを絵馬に書いて飾りました。また、赤べこに、皆の願いを込めた絵馬を貼っていき、疫病を防ぐお守りとして展示しています。（赤べこは会津地方の玩具で、かつて天然痘が流行した際に子供たちを守ったと伝承されています。）

2つ目は、各事業所で今年度作った作品等を展示して、「わくわくアート展」を開催しました。机に展示するだけではなく、皆さんが楽しめる様に展示の仕方も工夫しています。その他、ユニークな展示もあり、皆さん興味深そうに作品などを見ていました。

（記：木村）

1グループ 「梅の花」 & 「パンケーキ」



2グループ 「金魚」 & 「ラーメンうどん」



3グループ 「クリスマスツリー」



4グループ 「ひな祭り」 & 「丑年」

